



麻里府地域ふれあい 納涼盆踊り大会



潮騒

発行

田布施町大字
別府 1610 番地
麻里府公民館
TEL・55-5237



今年度も、恒例の「麻里府地域ふれあい納涼盆踊り大会」が8月14日(水)に開催されました。約400人のご来場があり、会場の麻里府グラウンドは大いに賑わいました。踊りは、嵯峨音頭、麻里府音頭で多くの方々が輪をつくり踊りを楽しまれていました。子ども花火も盛況で、様々な種類の花火を子どもたちは目を輝かせ、美しくはじける光を楽しんでいました。そして最後は、空くじなしの福引き大会で、1等から5等までの大小様々な海産物の景品を持ち帰りました。

後述になりましたが、東町長様、國本県議様をはじめ多くの方々のご来賓としてご来場いただき感謝申し上げます。

また、当日の準備や運営、翌日の後片付けを酷暑の中、汗だくになりながら伝統行事の成功を期して活動していただきました実行委員会、嵯峨音頭保存会、婦人会をはじめ、地域の方々のご協力・ご支援に改めて深く感謝を申し上げます。



賑わった婦人会の出店



飲み物引き換え場所



空くじなしの福引き



大盛況の子ども花火大会



賞品受け渡し場所

麻里府地域懇談会

高齢者の人権を守る ～詐欺被害を防ぐために～

毎年開催しています地域懇談会が、今年は7月20日（土）に開催されました。講師は、町教育委員会社会教育主事の河村崇文様でした。

最初に、山口県人権推進指針についての説明があり、高齢者の人権問題も分野別施策推進の一つに挙げられているとのことでした。そこで、今回は高齢者をターゲットとした社会的な問題でもある「うそ電話詐欺」についての情報や予防について話をされました。実際の手口や生々しい電話の録音を示していただき、何人かがチームを組み役割分担をしながら、相手を少しずつ巧妙な手口でだましていき、意図する方向に仕向けているとのことでした。一番その手口にかかりにくい人の傾向としては、自分は大丈夫だと自負している人より、もしかすると自分もだまされるかもしれないという危機感を持ち続けている人だそうです。

社会の情勢に合わせた新たなうそ電話詐欺をこれからも仕掛けてくると予想されるので、自分一人の判断で電話口で決めてしまうのではなく、周りの家族や警察等に相談をすることが大切だと感じました。



河村崇文 様



生きがい教室

バルーンアート教室

今回の生きがい教室は、7月20日（土）10:30より地域懇談会が終了した後に行われました。講師に社会教育課の高月寛行様をお迎えして「バルーンアート教室」を行いました。細長いゴム風船を膨らませて、風船を曲げたりよじったりしながら、「剣」や「犬」を制作しました。ゴム風船は、専用のポンプを使用して膨らませて口を結び、長細く膨らんだ風船をキュキュと音を立てながらよじり制作しました。時々、大きな音で風船が割れ、ビックリするのですが、その雰囲気も楽しさの一因となりました。一人ひとりが風船で制作したお土産を2～3個持ち帰ることができました。



高月寛行 様



【9月の行事予定】

9月25日（水） 10:00～

生きがい教室

